

内子どもがまちづくりの提案を行なう「子ども議会」のお手伝いをしてくれる学生を募集
日 10月8日(土)～来年1月6日
(金)のおおむね土曜。
所 市役所(1^{フロ}フロ)は。
対 市内か近郊の短大・大学などに通学し、月3回程度の会議に参加できる方12人。
甲 はがき、FAX、E。上欄必要



子ども議会のサポーター募集

2132、(2)は議会事務局総務課(211)3162

元金償還3年後。利子支払いは年2回（1月と7月）。

申取扱証券会社、銀行へ（1万円～1千万円、1万円単位）。

詳細 市コールセンター（222）4894

農業委員会委員選挙
投票日 6月19日（日）。

投票できる方農業委員会委員

市債（ライラック債・3年満期）のご購入を

号館、
FAX (211) 2943、
omo.keni@city.sapporo.jp) く
選考あり。
詳細 子どもの権利推進課
(11) 2942、
IP

女性相談員が対応します。
相談電話 (242) 7121。
6月1日(水)～11月30日(水)午後4時～9時。(土・日曜、祝日を除く)。

女性のための性暴力電話相談

期日前投票 6月11日(土)～18日
(土)午前8時30分～午後8時。
※投票場所など詳細について
は、別途通知を送付します。
詳細 市選挙管理委員会

Q. 家庭ごみの手数料って何に使われているの？

解決! ごみの? ギモン

A. 雑がみの分別収集や指定ごみ袋の製造に使われています

23年度は約28億円の手数料収入が見込まれています。そのうち指定ごみ袋製造の経費に約5億円が使われ、残りの23億円は、「ごみ減量」と「リサイクル」のいっそうの推進のために使われます。

環境事業部企画課 211-2912

目指せ！ごみ量400g以下

市では、家庭から出る廃棄ごみの排出量を1人1日400g以下にすることを目指しています。そこで、今月号からは皆さんの廃棄ごみの排出量を掲載。環境への負荷を減らすため、400g以下を目指しましょう！

23年度のごみ手数料の使い道

- ・雑がみなどの分別収集と資源化
- ・集団資源回収の奨励金
- ・生ごみ処理機購入費の助成など

約21億

- ・指定ごみ袋の製造や保管など

約5億

- ・ごみカレンダーの作成や配布
- ・ごみパト隊のパトロール費など

約2億

チェック! 1人1日当たりの廃棄ごみ量

22年度の平均 **404g**

買い物リストを作ろう！

生ごみの1割は手付かずの食品。冷蔵庫をチェックして買い物リストを作り、不要な食品は買わないようにしましょう。

対 各地域の戦没者の遺族でこれまで未参加の80歳以下の方。
内 詳しくはお問い合わせを。
日 10月中旬(来年3月上旬)
詳 旅費の約3分の1を助成。

海外慰靈巡拝

日 10月(来年3月分の会議室利用の一斉受け付け抽選会。
詳 7月11日(月)午前9時30分。
内 市民ホール(中央区北西1丁目)(252)3700



市民ホール会議室の利用受け付け

日 6月19日(日)午前9時~11時 55分。
詳 障がい福祉課(211)2
経路 真駒内セキスイハイムスタジアム→五輪通→真駒内通→中の島通→南22条橋→豊平川通→駅前通→大通→南1西26。 936

はまなす全国車いすマラソン開催に伴う交通規制

訪問地域 インドネシア、ビスマルク・ソロモン諸島、東ニューギニア、フィリピン、硫黄島。



詳 健康スポーツ財団 530-5562

札幌国際ハーフマラソン開催に伴う交通規制

日 7月3日(日)午後1時25分~3時10分ころに交通規制を行います。う回路を通行してください。
詳 停止期間 7月2日(土)~28日(木)。※停止期間中は、駒岡・発寒清掃工場、篠路・駒岡・発寒破碎工場で受け入れ。搬入の際は事前にご確認ください。

詳 保健福祉局総務課(211)2932

白石清掃工場のごみ受け入れの一時停止

マーレ・ソロモン諸島、東部ニューギニア、フィリピン、硫黄島。



ハチに刺されないために

ハチに刺される事故は主に夏~秋に発生しますが、刺激しなければ、むやみに刺してくれるはありません。生態を知って落ち着いて対処しましょう。

ハチに刺されないために 知っておこう! ハチの生態

- 手で払ったり、駆け出したりするとハチを刺激します。ハチが近づいてきたら静かにその場を離れましょう。
- ハチは黒い色に寄ってくるので、白い服を着るようにしましょう。
- ハチは甘い匂いに寄ってきます。香水はつけず、ジュースの缶などの持ち歩きはやめましょう。
- ハチは明るい方向に向かう性質があります。家や車にハチが入ってきたら、窓を開けましょう。



ハチの巣の駆除は

土地や家屋の所有者・管理者などが点検し、駆除してください。駆除に関する相談先についてはお問い合わせを。なお、ハチ取り器の作り方の資料を区保健センターで配布しています。

詳 市コールセンター 222-4894、HP

東日本大震災の現場から

3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。ここでは、被災地に派遣され支援活動を行った職員からのレポートを通じて、現地の様子、防災のポイントを紹介していきます。



派遣された職員

保健福祉局総務課
 宮本 まゆみさん(保健師)
 活動期間 3/18~22
 活動場所 仙台市宮城野区高砂1丁目 高砂市民センター



避難所で被災された方の健康相談などを行いました。避難所では、気温が氷点下の中でも、火災の恐れから暖房は使えず、断水のためうがいや手洗いもままならない状況。風邪の症状を訴える方が増えていたため、流行の予防に努めました。相談を行う中で、家族を亡くされた方のつらい体験や、今後の生活への不安を直接お聞きし、本当に胸が詰まる思いがしました。



派遣された宮本さん。健康相談のほか、医師との連絡なども行なった。

災害に備えて



避難所生活では感染症に注意が必要です。被災した場合は水が思うように使えないことも想定されるので、ウェットティッシュや消毒液を備えておくと良いでしょう。

防災に関するお問い合わせは 危機管理対策課 211-3062